

# 令和元年国立市議会第4回定例会

## 行政報告

おはようございます。

皆様のご出席をいただき、第4回定例会が開会されますことに対し、深く感謝申し上げます。

9月9日に千葉県千葉市付近に上陸した台風15号は、千葉県を中心に停電による大きな被害が発生したほか、東京都においても島しょ部にて被害が発生しました。また、10月12日に静岡県伊豆半島に上陸した台風19号は、関東・信越・東北地方を中心に甚大な被害をもたらしました。被災された皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。

この台風19号への対応についてですが、台風の接近に備え、災害対策本部を設置するとともに、市立小学校及び地域集会所を自主避難所として計7か所開設し、最大393名の方が避難されました。また、希望する市民への土のうの配布や職員によるパトロールなどを行い、被害の防止に努めました。

主な被害状況としましては、床上及び床下浸水がそれぞれ1件あったほか、河川敷公園の地面がえぐれるなどの被害が生じました。

11月1日には、国立市赤十字奉仕団を中心に、市職員のほ

か、市議会議員の有志を含め50名以上の参加を得て、国立駅前  
前で募金の呼びかけを行いました。集まった義援金350,300  
円は日本赤十字社を通じて、被災地へ届けられました。ご協  
力いただきました皆様に御礼申し上げます。

今回の台風における市の対応につきましては、課題を抽出  
し、問題の解決に向けて取り組んでまいります。

なお、台風15号に対する市の対応を含め、詳細につきましては、  
本定例会中の総務文教委員会に報告させていただきます。  
また、本定例会に関連する補正予算案を提案しております  
ので、よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

次に、第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会について  
ですが、10月24日から25日にかけて開催し、2日間で83自治  
体147名の方々にご参加いただきました。

24日は、くにたち市民芸術小ホールにて「ピース フロム  
国立」を開催し、国立音楽大学附属高等学校の生徒の皆さん  
による「祝祭」の演奏、国立市の取組発表、くにたち原爆・  
戦争体験伝承者講話、くにたち平和組曲「祈る日」の披露、  
「ヒロシマ アンド ピース」に参加した一橋大学留学生か  
らの発表などを行いました。ご参加いただきました議員の皆  
様に御礼申し上げます。

また、翌25日は、ホテル日航立川東京に会場を移し、国内加盟都市会議総会を開き、今後の核兵器廃絶に向けた世界情勢や平和首長会議の取組みについて、議案審議及び意見交換を行いました。

なお、11月28日には、開催地の市長として、広島市長と共に日本政府に対して要請文の提出を行いました。引き続き、平和首長会議の目的である核兵器廃絶及び恒久平和の実現に向け、平和、人権施策を根幹として、市政運営に取り組んでまいります。

それでは、9月定例会以降の行政執行の主なものについてご報告いたします。

初めに、政策経営部関係です。

市民表彰についてですが、11月4日に大学通りにて開催されました「第50回秋の市民まつり」におきまして、市民表彰式典を挙行し、秋晴れのもと多くの市民及び来賓の皆様にご参加いただきました。表彰を受けられた方々のご功績にあらためて敬意と感謝の意を申し上げますとともに、市民及び議員の皆様をはじめとした関係者の皆様のご協力に対し、深く感謝申し上げます。

次に、イタリアキッズフェスタ2019についてですが、11月17日に一橋大学兼松講堂にて、中央線沿線5市に在住・在学の小中学生及び高校生を対象に開催しました。2,000名を超える応募者の中から抽選により選ばれた1,000名の方にご来場いただき、イタリア・ルッカの作曲家プッチーニのオペラ「ジャンニ・スキッキ」を上演しました。イタリアの芸術文化に触れ、子どもたちには大きな感動を味わっていただけたことと思います。

次に、市長と語るタウンミーティングについてですが、市民の皆様と直接意見交換をすることにより市民に開かれた市政運営を推進するため、定期的なタウンミーティングを開始しました。12月1日には「北秋田市・ルッカ市との都市間交流」をテーマとし、くにたち駅前市民プラザにて開催しました。当日は、43名のご参加をいただき、都市間交流への期待や想いのほか、交流のアイデアなど貴重なご意見を伺いました。

次に、行政管理部関係です。

特別職職員報酬等審議会への諮問についてですが、11月20

日に常勤特別職職員の給与額について諮問しました。また、常勤特別職職員の期末手当及び退職手当の支給率についても併せて検討をお願いしました。

次に、健康福祉部関係です。

第8回「国立市認知症の日」イベントについてですが、10月26日にくにたち市民芸術小ホールにおいて、国立市と国立市在宅療養推進連絡協議会が主催し、国立市医師会、国立市歯科医師会、国立市薬剤師会の共催にて開催しました。

当日は、市民の皆様をはじめ、416名の方々にご参加いただき、映画「ケアニン」の上映、ジャズ演奏のほか、「認知症の本人をどう支えるか」をテーマとした基調講演、認知症ご本人と支援者による合唱や認知症ご本人とご家族との対談等を行いました。また、ロビーや市民ギャラリーでは、市民や事業所等による展示や認知症疾患センターによる相談を行いました。ご参加いただいた皆様に御礼申し上げます。

次に、地域で元気フェスタについてですが、市内の介護予防自主グループ活動報告の場として、11月21日にくにたち市民芸術小ホール及びくにたち市民総合体育館ロビーにて実施しました。当日は7団体の活動発表、6団体の体験コーナー、

14団体の展示報告が行われました。127名の方々にご参加いただき、大変好評のうちに閉会しました。

次に、地域医療計画推進のための連携協力に関する協定の締結についてですが、計画策定時より協力いただきました埼玉県立大学と11月1日に「国立市と埼玉県立大学との国立市地域医療計画推進のための連携協力に関する協定」を締結しました。埼玉県立大学から田中滋理事長、萱場一則学長、川越雅弘教授が来庁され、協定締結式を行いました。

次に、健康づくりに関する連携協定の締結についてですが、10月1日に国立市薬剤師会と「国立市民の健康づくり等に関する連携協定」を締結しました。市民の健康づくりの推進に向けて、今後とも相互に連携・協力して取り組んでまいります。

次に、子ども家庭部関係です。

幼児教育・保育無償化についてですが、市内保育園、幼稚園をはじめとした関係施設のご協力をいただき、大きな混乱もなく10月1日から制度がスタートしました。また、市独自の制度として、幼稚園保護者負担軽減補助金制度の拡充を図

るとともに、保育料の逆転現象への配慮などを行うことにより保護者の支援に努めております。

次に、保育園入所説明会についてですが、台風19号の影響により中止しました「保育園なるほどフェア」に代え、10月22日に開催しました。当日は、雨にもかかわらず66組のご参加をいただき、入所手続きや幼児教育・保育無償化、保育料見直しに関する説明を行いました。また、子ども達の活動の様子を撮影した写真など、各保育園の案内を展示し、パンフレットの配布も行いました。

次に、生活環境部関係です。

第50回くにたち秋の市民まつりについてですが、11月4日に天下市との同時開催で盛大に開催されました。

今年は50周年ということもあり、大学通りでの市民パレードをはじめ、お囃子、スケアード・ストレイト方式による自転車安全運転教室、オリンピック・パラリンピック競技体験など各種団体による企画や特設舞台での吹奏楽やダンスなどの披露のほか、新たに国立駅南口複合公共施設用地とコミュニティスペース旭通りの駐車場にも特設ミニステージを設置し、回遊性のあるまつりを実施、運営することができました。

次に、創業塾についてですが、市内で起業を目指す方、起業して間もない方を対象に、起業に必要な基礎知識から実務ノウハウまで体系的に学べる全5回の連続講座を開催し、最終的にビジネスプランの添削指導を実施しました。

次に、第29回国立市消費生活展についてですが、11月10日に農業まつりと同時開催で実施しました。「考えよう 平和なくらしと安全」をテーマに消費者団体7団体による展示のほか、消費生活相談や行政相談を行いました。

次に、多摩の魅力発信イベントについてですが、11月15日から16日にかけて、豊洲市場にて東京都と多摩30市町村の共催による「多摩の超文化祭」を実施しました。各市町村等による特産品の販売のほか親子で楽しめる体験型イベントや多摩食材をPRするトークショーなどが行われ、国立市のブースではくにたちスタイルの商品の販売や観光PRを行い、多くの来場者で賑わいました。

次に、環境フェスタくにたちについてですが、10月19日に谷保第四公園を中心に開催し、参加団体の環境への想いを来



場された皆様に届けることができました。SDGsにもつながる食品ロスを減らす取り組みは、環境ネットワークとも連携し、昨年より規模を拡大して実施することが出来ました。

また、くにたちフードドライブでは、来場された皆様より多くの食材の提供をいただき、児童福祉施設等に届けることができました。ご協力いただきました皆様に御礼申し上げます。

次に、都市整備部関係です。

都市計画道路3・4・8号線の説明会についてですが、10月30日に北市民プラザにおいて開催しました。39名のご参加をいただき、都市計画変更原案及び測量に関する説明のほか、事業計画についても説明しました。関係する市民の皆様にはご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

次に、「この先の福祉交通について考えるシンポジウム」についてですが、11月27日にくにたち市民芸術小ホールにて「だれもが外出・在宅を選択できる社会を目指して」をテーマに開催しました。一橋大学経済研究所の神林龍教授、後藤玲子教授のご協力をいただき、ケイパビリティ調査の分析と

今後の福祉交通の在り方についての講演及びパネルディスカッションを行い、85名の方にご参加いただきました。

次に、マンホールカードの発行についてですが、11月21日に国立駅舎をデザインしたカラーマンホール蓋のカード発行が決定しました。今後、市役所下水道課窓口にて配布いたします。

次に、旧国立駅舎再築事業についてですが、旧国立駅舎の開設を令和2年（2020年）4月に控え、機運醸成の一環として11月16日にくにたち市民芸術小ホールで「旧国立駅舎再築記念シンポジウム」を開催しました。当日は10代から80代まで幅広い世代の大変多くの方にご来場いただきました。基調講演、トークセッションなどを行い、くにたちのまちの魅力を改めて知っていただけたのではないかと考えております。

次に、旧国立駅舎管理運営事業についてですが、旧国立駅舎の活用や管理運営に関する提案又は意見交換を行う「旧国立駅舎運営連絡会」を12月1日に設置しました。令和2年（2020年）4月の旧国立駅舎オープンに向け、準備を進めてまいります。

なお、本定例会に関連する旧国立駅舎条例案を提案しておりますので、よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

次に、富士見台地域のまちづくりについてですが、富士見台地域重点まちづくり構想の策定に向けて、広く市民の皆様のご意見をお聞きするため、8月から10月にかけて計3回の市民参加型ワークショップ「富士見台ミーティング」を開催しました。第4回にとりまとめる「まちづくりの整備方針（案）」につながる多くの具体的なご意見をいただきました。

次に、第42回農業まつりについてですが、11月9日及び10日の2日間にわたり、市役所及び谷保第四公園にて開催され、くにたち野菜の販売のほか、野菜や果実の品評会、市民参加型のイベントなどが企画されました。

また、10日には旧車イベントの国立ヒストリカ・G.P2019が同時開催され、約3,000人の市民の皆様にご来場いただきました。

次に、稲作体験学習会についてですが、10月3日に城山さとのいえ前の体験水田において、農業委員会の指導のもと、米作りに関心・興味をもっていただく機会となるよう、市立

小学校8校の5年生が稲刈りを体験しました。

次に、教育委員会関係です。

第6回青少年音楽フェスティバルについてですが、10月26日にくにたち市民総合体育館において開催しました。市内の公立及び私立小中学校12校の吹奏楽部、金管バンド、合唱部等が集い、日頃の練習の成果を発揮し、音楽を通じて心のこもった演奏や表現を聴き合う素晴らしい会となりました。

次に、教育フォーラムについてですが、11月7日にくにたち市民芸術小ホールにおいて、保護者及び地域の方々並びに学校関係者を対象に「人権を尊重し多様性を認め合う学校教育を目指して」をテーマに開催しました。

学校教育においても、性的指向、性自認等が多様化しており、児童・生徒の心情等に十分配慮しながらきめ細やかな指導が求められているなか、学校の実践紹介や参加者との意見交換をとおして、LGBT等多様な性についての理解啓発を図りました。

終わりに、本定例会には、令和元年度国立市一般会計補正予算案等26議案を提出しておりますが、「職員の給与に関する

る条例の一部を改正する条例案」及び関連する補正予算案等7議案につきましては、職員団体との交渉の成立など、条件が整いしだい追加議案として提出させていただきます。

また、固定資産評価審査委員会委員の人事案件1件につきましても、準備が整いしだい追加議案として提出させていただきますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます、行政報告といたします。

令和元年（2019年）12月3日

国立市長 永見 理夫